

牛久：学校周辺に見る自然

第9号 ひたち野うしく小、中根小

2010年5月23日発行

<テントウムシがいっぱい！>

4月の観察ではあまり多くはみられなかったテントウムシですが、5月のひたち野うしく小4年生の観察では、たくさん見つかりました。エサとなるアブラムシがたくさんいたためでしょうか。

①ナミテントウ



4月、中根小に昼休み寄ったときに、「星がたくさんあるナナホシテントウがいたよ！」と職員室にやってきた子たちがいました。面白いものを見つけましたね。その後、同じのが観察授業でも見つかりました。これは一番よく目にする「ナミテントウ」なのですが、同じ種なのに色々な模様のもがあります。5月、ひたち野うしく小4年生のときには5種類の模様もようが見つかりました。全く別種のように見えますが、皆、ナミテントウなのです。

②ヒメカメノコテントウ



ナミテントウほどではありませんが、やはり色々な模様もようのものがあるヒメカメノコテントウです。カメのこうら甲羅もように似た模様からついた名だそうです。一番右のものなど、私にも何テントウか分からなくて、図鑑で調べました。

③ナナホシテントウ

④オオニジュウヤホシテントウ



左はおなじみのナナホシテントウ。①～③はアブラムシを食べる肉食性のテントウムシで、はねぜんし(前翅)がテカテカしていますが、④は植物を食べ(ジャガイモの葉を食べていました)、はねはくすんだ感じで毛が生えています。人間にとって①～③は益虫、④は害虫

ということになります。それぞれの生き物の立場によってこの見方は変わるといことでした。次回はそうした生き物どうしのつながりについて、お話ししたいと思います。【理科支援員・宮内】